



豊玉二中だより

令和4年度 第14号
発行日 3月8日(水)
練馬区立豊玉第二中学校
校長 神山 信次郎

「締めくくりの月を迎えて」

校長 神山 信次郎

今年度もあとわずかで終わろうとしています。今年度の締めくくりにふさわしい3月にしていきたいと思います。先月、練馬区在住で数々の作品を残した 松本零士さんが亡くなりました。命の尊さを漫画を通じて訴え続けた松本さんの代表作に「銀河鉄道999」があります。なぜ、「999」なのかという問いに大人の「1000」になる前の1つ足りない未完成の状態を描きたかったと言われています。最後の1つにこそ輝きがあり、これまでの努力の真価が問われるのではないのでしょうか。言うまでもなく3月は学校にとって締めくくりの月です。今年度の最後の10日間が始まります。日頃の生活の中で辛かったことや困難なことはあったと思いますが、それを乗り越えしっかりとできたことの喜びを味わう大切な時間です。特に3年生は3年間という時間の中で総まとめです。本当に義務教育を締めくくるにふさわしい3月であったと感じてほしいと思っています。中学校生活もあとわずかになりました。卒業生全員が未来に向かって力強く羽ばたいてもらいたいと願っています。1、2年生も3年生の晴れ舞台である卒業式を成功させるために、しっかり準備していきましょう。

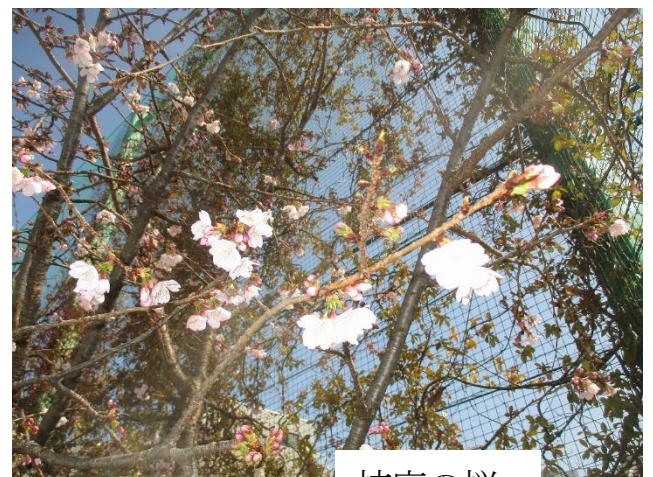
【3年生の皆さんへ】

卒業式が間近に迫ってきました。中学校生活の様々な出来事が思い出されていることでしょうか。卒業式当日は、中学校（義務教育）最後の授業と考えてください。先生方と在校生、来賓の方々、そして保護者の方々、全員で最後の授業にふさわしい最高の舞台を作り、祝福したいと思います。

3年生の皆さん一人一人が、豊玉第二中学校の卒業生としての誇りと自信を胸に巣立って行ってほしいと思います。そして卒業式当日には皆さんの最高の笑顔を見せてください。

【保護者の皆様・地域の方々へ】

お陰様で令和4年度も無事に終わろうとしています。これも保護者の皆様や地域の方々の温かいご支援のおかげと感謝しております。来年度に向けて、よりよい学校作りを行っていきますので、これからも本校の教育活動へのご理解・ご協力をお願いいたします。



校庭の桜